

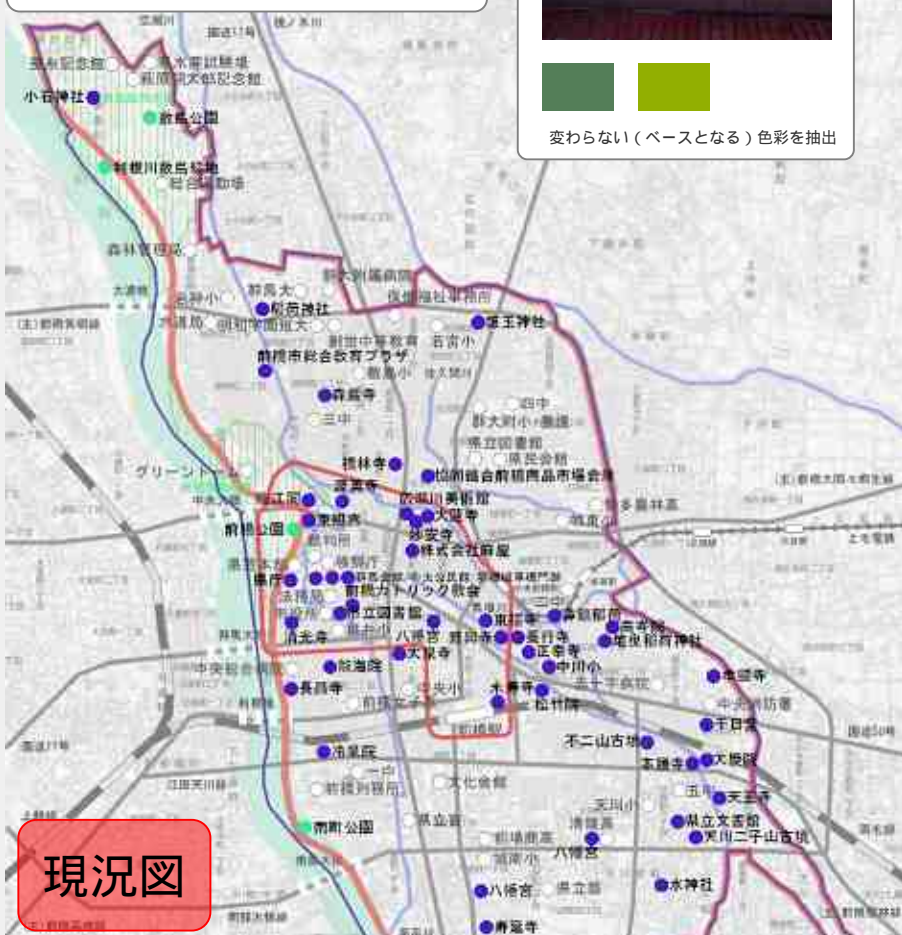
# 【本庁管内の1コマ】 地区を代表する景観構成要素



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



現況図

## ふるさと自慢〔住む人の声〕 大手、千代田、城東ほか

### 歴史

神社や寺、教会及び麻屋ビルなど、ランドマークや地域のシンボルとなる建造物が数多く在る

### 音風景

心に残る音(料亭小松から聞こえてくる三味線の音)

### 風の軸

利根川、広瀬川、馬場川、風呂川の川風

### 赤城山遠望軸

県庁、市庁舎からの市街地と赤城山の眺め

### 街

街中を流れる農業用水(広瀬川と馬場川)  
 中心市街の核  
 街中ならではの伝統文化(見番、花柳界)  
 河川沿いの道がつくる街路景観にぎやかな界隈と静かな界隈

### 人

地域のつながりを大切にする心

### 人の動き

昼間人口と定住人口の差

## ふるさと自慢〔住む人の声〕

### 歴史

糸のまち(製糸業)

### 音風景

敷島公園の松林を走る風音

### 風の軸

佐久間川の川風、広瀬川の風、風呂川の涼

## 地区の課題

### 景観にかかる課題1

前橋の玄関口となる前橋駅から官公庁街までのケヤキ通りは、前橋の中心市街地に品格を与える大切な区域だが、沿道建物の空室化や駐車場化、利用者の減少などによりその活力が低下している。

### 景観にかかる課題2

前橋駅前前の建て込んだ中高層マンションや、虫食い状に点在する青空駐車場など、前橋の魅力であるゆとりある空間を脅かす開発傾向がみられる。

### 景観にかかる課題3

中心市街地は、政治、経済、歴史の中心地として集積されてきた、歴史的資源(厩城跡、群馬会館、前橋カトリック教会、寺社、レンガ倉庫など)や文化(見番、花柳界など)が景観資源として生かされていない。

### 景観にかかる課題4

利根川、広瀬川、風呂川、佐久間川、端気川がもたらす水と緑と川風や、住宅地に残る鎮守の森やシンボルとなる樹木は、中心市街地や住宅地に静寂と四季と清らかな風を与えてくれるものであり、これを積極的に生かす。

### 体制にかかる課題1

空洞化が進む中心市街地における、若者や有志によるイベント、アート系の活動などが、中心市街地の景観づくりにも影響を与えるよう、その取り組みをより活発化させていく。

### 拓く

定住人口の流入増、まちの顔づくり

### 地形

旧利根川跡地の名残り、広瀬川の流れ



体感・体験図〔住む人の目〕



若宮町、岩神町、平和町ほか

赤城山遠望軸

(主) 前橋・赤城線から眺める鍋割山

街

都市化が進む中、点在する憩いの場

人

景観及び環境、防災に関心を持つ地域性

→ 地区の方針

景観形成方針 1

ケヤキ通りの沿道は、中心市街地としての品格ある街並みを形成すべく、建物や屋外広告物の誘導に取り組む。

景観形成方針 2

水量が豊かで勢いのある広瀬川と、中心市街地の街並みの対比は、前橋独自のものであり、川側に向けた建物のしつらえや、川への通路の設置など、街と川に空間的なつながりを持たせ、中心市街地の魅力として積極的に取り入れていく。

景観形成方針 3

厩城跡を中心として旧城下町を取り巻く、源英寺、妙安寺、東福寺、八幡宮、龍海院、長昌寺を含む大小の寺社と利根川をネットワーク化し、城下町時代の境界を表出させる。

景観形成方針 4

中心市街地に集積する、群馬会館、前橋カトリック教会、榊麻屋ビル、赤レンガ倉庫(旧安田銀行担保倉庫、上毛倉庫株)など明治から昭和初期に建てられた建物は、前橋の生きた風景をつくり出す資源であり、これを積極的に活用し保全する。

景観形成方針 5

中心市街地に点在する青空駐車場は、生垣・芝生・敷石を敷くなど緑化ルールを設け、中心市街地の緑の装置に転換し、緑のネットワークをつくり出す。

景観形成方針 6

住宅市街地を流れる、広瀬川、風呂川、佐久間川、端気川は、静かな住宅地に川風の涼と緑を与えており、散策路の修景や清掃、ベンチ・街灯などにより、地域住民と連携してより利用しやすい環境をつくる。

体制整備方針 1

中心市街地のアート活動など、景観づくりに寄与する地域活動に対する柔軟な支援体制を整える。

景観形成重点地区候補地

敷島公園周辺地区

景観形成のテーマ / 公園の前衛としての顔をつくる

目標 / ゆとりのある空間が形成されているバラ園周辺の街区を、市の代表である敷島公園の前衛としてふさわしい地区に整備する

けやき通り地区(前橋駅北口~県庁周辺)

景観形成のテーマ / 「まえばしの顔」をつくる

目標 / 前橋駅北口から中心商業地を経て県庁周辺までのケヤキの並木道において、街路のイメージに合わせた沿道建物の整備により、市の顔となる都市軸として整備を図る

広瀬川河畔地区

景観形成のテーマ / 水と緑が豊かな中心市街地をつくる

目標 / 緑豊かな河畔の道のイメージに合わせた沿道建物の整備により、河川を身近に感じられ、親しめ、楽しめる場所として公共と民地が一体となる空間形成を図る